

令和6年度 第4回 小金井市立緑中学校 学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和7年1月11日（土）14:00～15:30

2 場所 本校2階会議室

3 出席者

委員	中野 利枝子	
委員	八木 尚子	
委員	小林 浩	
委員	後藤 幹芳	
委員	前田 薫平	
委員	塩原 真一	本校校長
委員	蓮沼 喜春	本校副校長
説明員	小川 拓	本校教務主任
説明員	橋本 一彰	本校進路指導主任
説明員	鈴木 史子	本校特別支援コーディネーター
書記	下平 幸一	

4 傍聴人数 0名

5 協議内容

1 校長挨拶

- ① 本年度の本校の道徳授業地区公開講座として、本日、道徳の授業公開と「LGBTQについて」の講演会を行った。
- ② 3年生は、台風の影響で延期していた修学旅行を、3月6日（木）から8日（土）で実施する予定である。
- ③ 都立高校の第一次募集及び前期募集の合格発表日は、3月3日（月）である。
- ④ 本校の人権尊重教育推進校研究発表会を、令和8年1月28日（水）に本校体育館で行う予定である。
- ⑤ 乾燥している日が続いているので、保湿を心がけるとともに、手洗い・うがいをするように生徒に呼びかけている。また、本校ホームページに「手洗い・うがい・湿度を保つ」ことを各家庭にお願いする内容を記載して、周知している。
- ⑥ 部活動地域連携の検証事業として、1月11日（土）から3月31日（月）までの間、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部に外部団体の指導者が部活動指導を行う。

2 道徳授業地区公開講座について

- ① 「多様な性」を題材にし、セクシュアリティの違いについて1時間目に全学級で公開授業を行い、2～3時間目で講師の先生のお話をいただいた。
- ② 各クラスの授業に関しては、多様な性に関する認識や理解が進むようイラストや動画を活用して、視覚的に多様な性のあり方について触れた。講演会では、NPO法人ReBi

t様に講師をお招きした。「多様な性ってなんだろう？～互いの違いを受け止め合える社会を目指して」というテーマのもと、講師の先生の実体験を交えお話いただいた。

- ③ 多様な性を含め、それぞれの「ちがひ」を受け止め合うにはどうしたらいいのか考える機会となった。

### 3 第2回学校評価アンケート結果報告

- ① 多くの生徒が、楽しく充実した学校生活を送ることができており、学校生活の中で、学校行事などを通じて、同じ目的をもつ仲間と協力して活動することができている。
- ② 全体的に保護者の「分からない／回答が困難」の回答が増加していることから、各種取組を積極的に発信し、保護者に学校の様子を分かりやすく伝えていく必要がある。
- ③ ICT機器の活用は以前より大変活用されてきたように感じているが、さらに研究を重ね、より効果的な活用をもって、自ら課題を見つけ解決する力を付けてほしい。
- ④ コミュニティ・スクールや地域学校協働への枠組みでの取り組みも進めていきたいが、「地域」がどんなものか理解を進めることも取り組んでいく必要があるのではないかと。
- ⑤ 生徒の体と時間的な負担を考慮し、各部活動の土日を含めた1週間の活動日数と活動時間を見直す必要があるのではないかと。
- ⑥ コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症で出席停止となった生徒への「学びの保障」を検討し、対応していく必要がある。

### 4 その他

・地域学校協働活動について

- ① 現在、本校では職員会議等を実施する際、生徒に完全下校をさせ、部活動に参加する場合は午後4時に再登校をすることとしているが、生徒にとって最大で往復1時間の徒歩での移動をさせることとなっている。再登校にかかる生徒の負担の軽減を図ってほしいという要望を、学校評価アンケートを通じて保護者からいただいている。
- ② そこで、「地域未来塾」の枠組みを活用し、職員会議等を行う時間帯に校内に自習スペースを設置することに試行的に取り組む。初回は1月22日（水）とし、今後、2月から3月にかけても試行実施を行う予定である。すでに地域コーディネーターにボランティアの方々の調整をお願いしているところである。